「旭川市江丹別若者の郷活性化協議会」会議録　（平成２７年度第１回）

◆日　時　　日時　平成２７年７月１０日（金）午後１時３０分～午後３時３０分
◆場　所　　旭川市江丹別若者の郷　若者センター　２階　研修室Ｂ
◆出席者　　委員６名（５０音順，敬称略）
　　坂下武，佐々木悟，鈴木瑠依，
　　中田浩康，三上正，水澤拓二，（欠席：荒川求，横口三智夫）
　　事務局職員　３名
　　（農政部次長）加藤章広，（農政課長補佐）小浜洋人
　　（農政課農政係）保坂祥平
◆会議の公開・非公開の別　　公開
◆傍聴者の数　　０人（市民等　０人，報道機関０人）
◆会議資料
　　次第
　　旭川市江丹別若者の郷活性化協議会設置要綱
　　資料１　平成２６年度旭川市江丹別若者の郷活性化協議会での主な協議事項
　　資料２　江丹別若者の郷活性化対策費

◆顛末
【開会】
　開会し，農政部次長からあいさつがあり，出席委員の紹介，欠席委員の報告，事務局職員の紹介を行った後，委員の任期は平成２８年３月３１日までであること，公務員以外の委員については源泉徴収の後，毎回の会議終了ごとに謝金が支払われることを確認した上で，会議に入った。
【会議】
　会議冒頭，佐々木座長からあいさつがあった後，市の人事異動により今年度は副座長が不在になっていることから，互選を行った結果，水澤委員が選出され就任のあいさつがあった。
　次いで，本年度の協議会の運営については昨年度と同様，旭川市市民参加推進条例及び関係する規則等に基づき運営することとし，次の各事項につき座長が諮り，出席委員全員の了承を得た。
　・会議の公開・非公開の別･･･原則公開とする。
　・傍聴者の定員･･･１０名とする。
　・傍聴者の遵守事項･･･「傍聴者のみなさまへお願い」のとおりとし，傍聴者へ配布する。
　・傍聴者から発言の申し出があった場合･･･会議中の発言は認めず，会議終了後に事務局へ申し出ることとする。

・会議録の作成方法･･･要点記録とする。
・会議録の発言者の取扱い･･･座長以外は委員とする。
・会議録の公開・非公開の別･･･公開する。
・会議録の確認方法･･･座長による確認とする。
・ホームページ等で公開する委員名簿の記載事項･･･氏名，よみがな，所属団体等とし，座長・副座長にはその旨記載する。

１．江丹別若者の郷の活性化策について
（１）昨年度の協議事項について
（２）本年度の取組みについて

次いで，次第に基づき「１．江丹別若者の郷活性化策について」を議題とし，配付資料「平成２６年度旭川市江丹別若者の郷活性化協議会での主な協議事項」及び「江丹別若者の郷活性化対策費」に基づき事務局から説明があった後，主に次の発言があった。

座長	資料にあるとおり，昨年度は様々な案を頂きました。Ａ委員に伺いますが，専門家のお立場からこの中で実現可能なものはございますか。
Ａ委員	質問ですが，本年度の取組は，活性化対策費をどう活用していくかということで良いのでしょうか。委員の顔ぶれも変わり，新たな案を出すということですか。
座長	基本的には，昨年度の議論で頂いた案を基にした事例調査ですよね。その中で新たな案も出てくるとは思います。
Ａ委員	この協議会の目的は，この施設を活性化させるためにどのように集客していくかということですが，昨年提案させて頂いた森林浴ツアーですとか，加工室でものづくりも出来ますので，そういったものを核に置いた上で，それプラス，グリーンツーリズムの観点で言えば農業体験や集客体験ですとか，複数の要素をパッケージという形にしていくのが一番良いと思います
座長	江丹別独自の，ここでしか出来ないものということで御意見ございますか。
Ａ委員	以前，Ｂ委員が地元の目線から，江丹別にはカエデが沢山あるということで，樹液採取を提案されました。こういった事を試験的にやってみてはどうでしょう。
Ｂ委員	市有林の中に結構な本数があるんですね。樹液は雪解け頃の４月の初め頃が一番出るんですよ。カエデが一番美味しくて，あとはシラカバかな。
事務局	農政部の予算ではないのですが，市役所で「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」というものがございまして，農政部からも市有林内のカエデの植生調査と樹液の活用方法について提案しました。案自体は採用され平成２７年度事業として公募されたのですが，手を上げてくれる民間団体がいませんでした。
座長	我々で実施できそうですか。
事務局	難しいと思われます。メープルシロップづくり自体は難しくないのですが，要は，

	山の中のどこにカエデが生えているのか探し出すところからやるものですから，山歩きに慣れていないと。それもあって敬遠されたのかなと想像しています。
座長	植生調査をするとなると，かなり広範囲ですよね。Ｃ委員のお住まいの辺りはカエデは生えていますか。
Ｃ委員	私のところは，地区的にカエデは少ないですね。
事務局	どのくらいの樹齢のものが採取に適しているのでしょうか。
Ｂ委員	４０～５０年くらいかな。若い樹だと穴をあけると枯れてしまうよね。
座長	時期がずれていて，今年度中に実施するのは難しいですか。
Ａ委員	でも，Ｂ委員は若者の郷に生えているイタヤカエデは分かりますよね。それをちょっと切って舐めてみろ，とかは直ぐにでもできますよね。
Ｂ委員	他に直ぐにできるものは，魚釣りかな。ヤマベ。
Ｄ委員	今の季節だと，キノコはどうだろうね。
Ｂ委員	かなり豊富にあるけれども，毒キノコもあるからおっかないんだよな。 ところでね，森林浴だけどさ，市有林の中に，松の樹の間を通る１キロくらいの道路があるんだけれど，気分が良くなるんだよ。
事務局	市有林の中ですか。
Ｂ委員	去年現地調査で見に行った，クラフト体験のできる建物のさらに奥側にあるんだよね。気分が変わるくらいスカッとする。
Ａ委員	１キロまで歩かなくても，途中まででも行って見るとかどうですか。
Ｄ委員	歩いてみるかい。
座長	Ａ委員，歩くということに，何かを組み合わせるとすれば，どんなことができそうですか。
Ａ委員	そうですね･･･，若者の郷の施設をからめた方が良いですよね。 森林ウオーキングをした後に，ここには加工施設があるので，地元のお母さん達が講師になって，「歩いて健康になったら，食べても健康になりましょう」ということで，森林ウオークが大体１時間くらいで終わりますので，その後，地元の農産物などを活用したランチを一緒に作って，ヘルシーランチを皆で食べましょうと。その後はのんびりしても良いという。二つのプログラムを組み合わせて半日コースですとかが出来れば，色々なプログラムが繋がってきますよね。健康をキーワードに，森林ウオークとヘルシーランチということで。
Ｂ委員	それは良いね。
座長	ヘルシーランチですが，そば以外で何か地元の食材はございますか。
Ｄ委員	今の時期に保管している人がいるか分からないけれども，ここの加工施設で，山菜の採れる時期に山菜ごはんの具を作っている方がいるんだよね。
事務局	いらっしゃいますね。

Ｄ委員	例えば，その時に作った山菜ごはんの具が，この時期にストックしているものがあるならば，その方から調達して，あとは，ごはんがあれば良いわけですよね。
座長	江丹別には乳製品もありますので，いろいろと組合せることは出来ますよね。
Ｂ委員	地元で作っていないものもあったり，季節によって用意できる野菜は変わるけれどもね。
Ａ委員	良いのではないでしょうかそれで。材料がこれだけいろいろあるわけですから，組み合わせていろいろ作っていけるんじゃないでしょうか。
Ｂ委員	口コミで何人か集めて，一回やってみるかい。
Ａ委員	最初からそんな出来上がったものではなくて，我々だけでちょっとやってみても良いですし，地域の子供さん達ですとかでも良いですし，大げさにやろうとすると厳しくなるので，まずは小さくやてみるで良いと思います。
Ｄ委員	Ａ委員が言われたように，先ずはそこを歩いてみて，山菜ごはんか何かを食べてみると。最低このメンバーだけでも良いですよね。それで，これなら行けそうだということになったら地元の方もまきこんでいけば良いと思う。
座長	ここは，そば味噌を実際に作っている人はいますか。
Ｂ委員	自分で作って食べるけれども，あれはたまに食べるから美味いんだよね。飽きが来ないということであれば，やっぱり大豆味噌にはかなわないかな。
事務	味噌にそばを放り込むだけじゃないのですか。
Ｂ委員	そうなんだけれども，変わった味がするから最初は美味いと思うんだけど，１週間も食べたらいやになるかな。
座長	ウチダザリガニたべたことありますか。阿寒湖で商品化していますし，行って食べることもできますよね。
副座長	阿寒まで行かなくても，８月１日に公民館事業でウチダザリガニを食べるというイベントをやりますし，嵐山では先日ウチダザリガニの捕獲でかなり多くの人が来られています。商品化はされていませんが，ここで食べることはできます。
Ｃ委員	知り合いの方が毎年江丹別に駆除に来て，その後食べるんだけれど，すごく美味しいとは聞いています。
Ａ委員	私のイメージとしては，ランチの提供というのは結構ハードルが高いので，先ほどの，まさに目からうろこの山菜ごはん。要は，参加者は主食は自分たちで持ってくるので，チーズですとか副食はこちらで提供しますよ，そういう手法であれば。江丹別ランチということで。
事務局	Ａ委員が今お話しになったのは，何かプレートがあって，その中に山菜ごはんやチーズがあり，そばの汁物があるですとか，江丹別の物を使ったランチということですよね。
Ａ委員	提案ですが，地域住民の方や日々の活動の中で動ける人が連携して現地を見に行くとか，次の会議の際にお話しいただけるよう，事前調査を行ってはどうでしょ

	うか。その役割分担をしておいた方がよいと思います。限られた会議だけでは合意形成をしているだけで終わってしまいますので。
Ｂ委員	とりあえず自分たちで下見してみましょうか。
事務局	若者の郷を活性化していく際に，将来だれが担っていくのかというのがポイントですよね。一つは地域の方々が入るということ。また，Ａ委員のようなプロの方が商品化しここを活用していただく方法もありますよね。もう一つは市も何らかの形で応援するという。 　地域の方が入っていただくのですが，その場合，自分たちで出来るものは何かということを考える。星がきれいですとか，虫捕りですとか，こういったものは比較的担いやすいかもしれません。 　恐らくＡ委員はプロの視点から自分の商品として会社で売るとしたらどのようなパッケージがあるだろうかと，きっともう考えられているのではないでしょうか。そして儲けていただければ良いんですよね。そうしたら，地元の人が何ができるのか見えてきますし，そういたものをもとに視察も行けるのかなと。
座長	地域とも結びつきながら商品化していく場合で，実現性とかどうですか。
Ａ委員	実現性については，私も１０年くらいこの仕事をやっていますが，やってみなければ分からないというのが持論でして，実現性はかなり潜在的なものは持っていると思います。森林ウオーキングについてもノウハウはありますので。 また，商品化という話がありましたが，商品化を目指すのがゴールかというと自分はそうではないと思っていまして，それはあくまで地域の活性化の一つの手段であると思っています。観光のための商品づくりというより，人が集まっていれば結果的に観光で，結果として商品になるというのが一番の理想かなと。 地域との連携という部分でいえば，先ほどのお話しにもありましたが，だれがやるかという部分が一番重要なところです。例えば魚釣りに詳しいのは地元の誰や，森林に詳しいのは誰というふうに，地元の方が実際に案内する。われわれは人を呼び込みますけど，実際に地元の人が案内し，地域の方が発信する形を作っていければと思います。
事務局	ウオーキング中に採れるものってないのでしょうか。それを持ってきてご飯の中に入れて食べることができれば，少しつながるのかなと。
座長	どういったものが活用できるのか，地場産物を確認する作業も必要ですね。
Ａ委員	収穫の時期に「江丹別サラダ」ですとかができれば一番良いですよね。パンだけ持ってきてサンドイッチにするですとか，そういうことも出来ますよね。
事務局	先ずは，行ける人だけで，先ほどＢ委員からお話しのあった場所を見に行ってみるのはどうでしょうか。加えて，地域の方として実際に何を担っていけそうか，次回までに考えてきていただくですとか，Ａ委員には大変お忙しいところ恐縮なのですが，出来そうな商品パッケージを考えてきていただくですとか，いかがで

	すか。
座長	そうですね。

２．先進地視察について

座長	続きまして「２．先進地視察について」ですが，ある程度，日程も決めた方がいいですよね。
事務局	昨年度の議論では，Ａ委員から詳細にお話しを頂いた森林セラピーについては，津別町の取組みがございます。２０１１年４月に森林セラピー基地の認定を受けているようです。
Ｂ委員	一度見に行ったら，新たな発想がでてくるかもしれないですね。
Ａ委員	津別峠では雲海ツアーといのがあります。江丹別は星が奇麗だということですが，摩周湖のナイトウオッチングというのがありまして，今日はここに来る途中市営牧場をずうっと見て来たのですが，もし市営牧場のどこかが許されるのであれば，そこで毎週末でもいいですけれど，星空ウオッチングをやっていますよ，ですとか，そういう定期的な発信というのも必要かなと思っています。 　弟子屈も観光シーズンには毎日７時～８時まで星空ウオッチングをやっていますよと，行きたい人はバスに乗ってくださいというのをやっていて，それが観光名所になっていると。津別まで行くのであれば弟子屈や阿寒まで行ってウチダザリガニを食べるのもいいでしょうし。国道３９号線から行くのであれば山の水族館も見ることができますよね。
座長	第２回目の協議会の前に色々と調査しておいた方が良いですね。秋に事務局が動けなくなるのはいつ頃ですか。
事務局	例年ですと９月中旬から議会がはじまります。
座長	９月上旬に第２回協議会を開催することになりますね。逆算すると８月下旬には視察に行くということですね。また，７月下旬には行ける委員で市有林を見に行くと。調整は事務局でお願いいたします。あと何かございますか。
Ｃ委員	森林浴についてですが，どういった人たちを対象者にするかが大切だと思うのですね。どこかに行くとか，ごはんは何が食べられるのかということについて，あれこれ言うのはやっぱり女性だと思うんです。口コミで情報を伝えていくのもそうです。だから，下見ですとか企画の段階から，女性の意見もあった方が良いと思います。江丹別にどれだけ女性がいらっしゃるかわかりませんが，地域の方でも良いし，市内の興味を持たれた方に声をかけても良いでしょうし，女性の意見があった方が。 　もう一つ，森林浴についてですが，私は旭川ドイツ交流協会という会に入っているのですが，そこの会長さんとお話ししていたら森林浴を考えているとここことで，ドイツやヨーロッパが先進地だから来てもらったらいいんじゃないだろうかとのことでした。興味をお持ちだと思いますので，そういった方にお声掛けした

	らまた違う展開に繋がっていくんじゃないかなと思いました。
事務局	ありがとうございます。会長さんは存じ上げています。
Ａ委員	ドイツでは，クナイプ療法といいまして，確立しているんですね。日本でいう民間療法のようなものですが，半身浴で水中歩行をするとか，その後に森の中を歩いて，森のサウナという所があるのですが，そういった所で椅子に座っていると心身が穏やかになって血圧を下げるという。また，ホテルが提携してクナイプ療法のランチを提供しているですとか，いくつかルールを決めてやっているのですね。それがあちこちにあるわけです。
座長	後ご質問やご発言はございますか。 それでは，本日の協議会を終了いたします。